

平成 22 年 6 月 7 日

京都大学ボート部
部長 前川 覚
主務 清水裕史

第 61 回京大・東大対校競漕大会 WiMAX 中継プロジェクト 計 画 書

京都大学ボート部は創部以来 104 年の歴史を持つ京都大学を代表する体育会所属の運動部であり、東京大学漕艇部との共催により、滋賀県瀬田川と埼玉県戸田オリンピックコースで毎年交互に京都大学・東京大学対校競漕大会を開催しています。今年は 6 月 20 日（日）正午より瀬田川において第 61 回大会を開催します。この伝統ある競漕大会には毎年、両大学総長・副学長、OB をはじめ多くの方が応援・観戦に来てくださいますが、レースそのものは目の前を通り過ぎる数十秒間しか見ることができません。このような欠点を補うため、今回、京大ボート部では、スタートからゴールまでのレース全体を最先端高速通信・映像技術を活用して、コース中程の大会本部（京大ボート部合宿所）へ、実況映像中継をしようと計画しています。また、準備が整えばさらにインターネットを通じてその場にはいない部員家族や OB、ボート愛好家へ配信しようと計画しています。

この計画により、3,200m におよぶ熱戦の醍醐味と臨場感を多くの方々に提供し、大会をより一層盛り上げ、情報通信技術の身近な活用、京都大学学生の課外活動の広報に貢献しようと考えています。

本プロジェクトは京大ボート部現役部員、OB 有志、OB 会である濃青会が一丸となって計画、実験を行っています。初めての計画であり、予算も少ない状況ですが、本プロジェクトを実施するにあたり、京都大学本部、京都大学学術情報メディアセンター教員、UQ コミュニケーションズ株式会社、シャープ株式会社、株式会社イトーキなどから強力な支援を受けています。

本計画の詳細は下記の通りです。つきましては、本計画にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. プロジェクト名称

京大・東大戦 WiMAX 映像中継プロジェクト

2. 計画チーム名称

京都大学ボート部 WiMAX 映像中継プロジェクトチーム

3. 実施内容

第 61 回京大・東大対校ボートレースは平成 22 年 6 月 20 日（日）に滋賀県大津市瀬田川特設コースで開催される。レースは自然河川 瀬田川の 3,200m コースを、京都大学と東京大学の 2 回生トップクルー 2 艇で競い合う伝統ある試合である。当日 12 時、大会本部（京大ボート部合宿所）での開会式の後、男子エイト、男子フォア、女子クオドルプルの他、医学部レース、両校ボート部 OB によるレースが行われる。

本ボートレースを伴走艇（モーターボート）や橋上・川岸からビデオカメラで撮影する。現在、伴走艇に 1 台、固定点 5 カ所のカメラを予定している。その映像を次世代の高速大容量通信ネットワークシステム WiMAX を利用してサーバーへ送信する。映像はコース中盤に位置する大会本部（京大ボート部合宿所）のパソコンで受信し、複数のカメラから撮影した映像を再構成して、合宿所横の艇庫屋上観覧席に設置した大型ディスプレイで実況放映する。また、準備が整えば、Ustream を利用してインターネットを通じて、その場にはいない OB や部員家族にも映像を配信する。

なお、雨天でもレースは実施される。本計画は雨天の場合も想定して対策を準備しているが、大雨の場合には中止せざるを得ないかもしれない。

プロジェクト概念図を図 1 に、カメラの設置案を図 2 に記載した。

4. 準備状況

部員、部長、OB、協力者などからなるプロジェクトチームが、計画を立案、現場での映像送受信実験を行っている。臨場感ある映像が得られるようになり、準備は順調に進んでいる

5. 本プロジェクトへの支援団体・企業

- 京大ボート部 OB 会である濃青会
- 京都大学本部
- 京都大学学術情報メディアセンター教員
- UQ コミュニケーションズ株式会社： WiMAX 通信技術支援、関連機器貸与
- シャープ株式会社： ディスプレイ貸与
- 株式会社イトーキ： 映像技術支援、関連機器貸与

6. プロジェクト効果：

本プロジェクトにより以下のような効果が期待される。

- (1) ボートレース中、リアルタイム、かつ細部まで中継できる。これまで他のボートレースで中継が行われても、それらは基本的に中継車が伴走し、ボートを横から撮影するもので、選手の表情やボートの迫力・臨場感を出すことが出来なかった。本プロジェクトでは、モーターボートからの近接撮影もでき、コース上の定点カメラの台数を増やすことも容易であり、迫力ある映像を視聴者に提供して、ボート競技の普及に貢献できる。
- (2) 本プロジェクトは京都大学ボート部学生と OB との協力により計画・実施されており、その協力関係、また京都大学および学生課外活動の積極的姿勢をアピールできる。
- (3) 次世代の高速大容量通信システムである WiMAX を活用することにより、新しい情報通信社会の姿を世間に提案することができる。
- (4) WiMAX 通信システムは通常の練習時におけるローイング技術の向上や安全対策としても利用可能である。また、このようなシステムはボートのみならず他のスポーツでも利用可能であり、スポーツの振興という面で大きな可能性を持つ。
- (5) 京大ボート部の活動に多額の寄付をはじめ、物心両面で多大の支援をいただいている京大ボート部 OB の方々に、観戦の便宜を図り、サービスをする。

7. 参考事項

- 京都大学ボート部は 1897 年の京都帝国大学創設の 9 年目 1906 年に創部され、今年で 104 年の歴史を誇る京都大学を代表する運動部の 1 つである。
- 京都大学ボート部は、人材育成、人的交流、ボート競技の普及を目的とする体育会所属の団体であり、約 80 名の部員を有している。活動は、京大ボート部 OB からの寄付、現役部員の部費、その他体育会や大学からの援助金で行っており、大津市蛸谷の京都大学ボート部合宿所を拠点に練習等を行っている。
- 昨年度の戦績は、第 60 回東大戦で男子エイト、男子フォア、女子クオドルプルの全種目において京大ボート史上最高速記録で優勝した。また全日本大学選手権では男子エイトで 5 位、男子舵手なしペアで準優勝であった。
- OB 会である濃青会は会員数約 1200 名で、寄付をはじめとした現役への支援、また会員相互の交流を目的として、理事会を中心に活発に活動している。

8. 連絡先

- 前川 覚 京都大学ボート部長
京都大学大学院人間・環境学研究科 教授
〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 Tel: 075-753-6787 Fax: 075-753-2946
Mail: maegawa.satoru.3w@kyoto-u.ac.jp

- 清水裕史 京都大学ボート部マネージャー 主務
京都大学工学部 4 回生
〒520-0853 大津市蛸谷 2-24 京大ボート部合宿所 Tel/Fax: 077-537-1304
Mail: rowing@mx.biwa.ne.jp

図1 東大戦 WiMAX 中継プロジェクト概念図

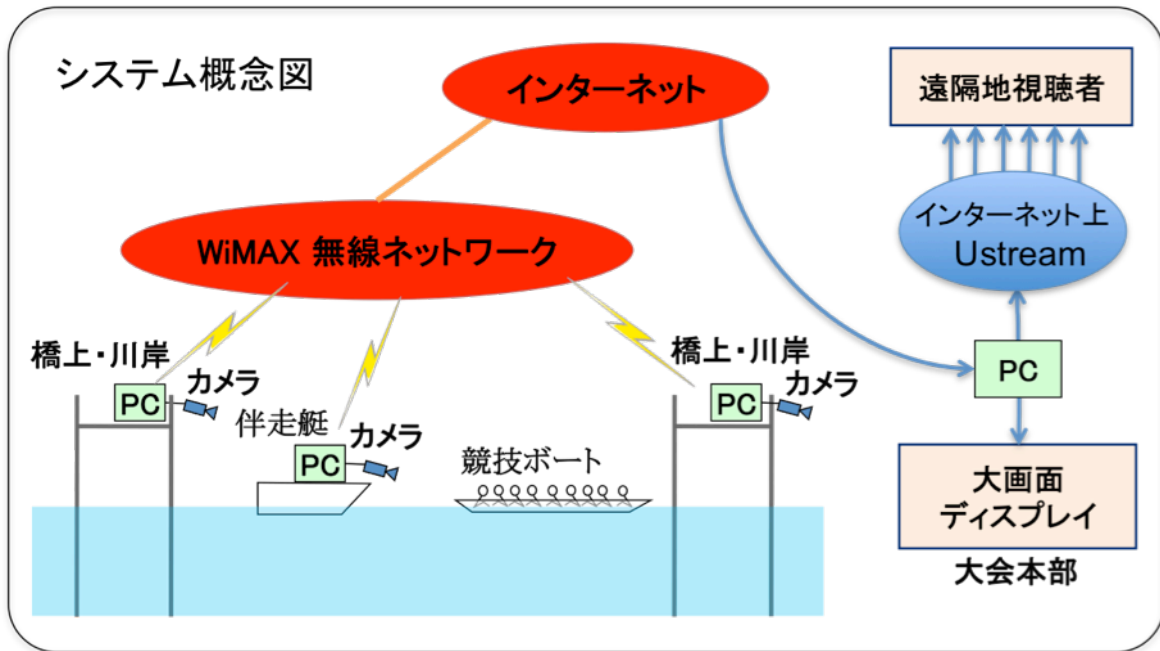


図2. カメラ設置案とレースコース風景写真
(Google マップ利用)



図 3. 京大ボート部合宿所アクセス
(京大ボート部ホームページより)

京都大学ボート部合宿所 (石山艇庫)

〒520-0853 大津市蜷谷 2-24

Tel/Fax:077-537-1304 Email :rowing@mx.biwa.ne.jp



◆ JR京都駅から

・JR琵琶湖線 (東海道線)
石山駅下車
<新快速 14分>

◆ 京都市中心部から(1)

・市営地下鉄 東西線 山科駅下車
<三条駅から 9分>

・JR琵琶湖線に乗り換え、
石山駅下車。
<新快速 11分>

◆ 京都市中心部から(2)

・京阪電車 京津線 浜大津駅(終点)
で
・石山坂本線 石山寺行きに乗り換え、
唐橋前駅下車。
<三条駅から 42分>

◆ 車で

名神高速 瀬田西IC下車、
瀬田方面に向かい唐橋を渡る。

湖岸道路(R422)を南下、
新幹線高架下を
瀬田側に向かって左折。

<瀬田西ICから 10分>
駐車スペースは3台分程です。